

牛の目利き 高校生真剣

西予で県大会 肉付きや姿勢審査



牛の肉付きなどを見比べる高校生

高校生による家畜審査競技大会が6日、西予市野村町阿下の県畜産研究センターであり、12校の46人が牛の発育状態や将来性を見極める技術を競った。

乳牛（ホルスタイン種）と和牛（黒毛和種）の2部門で実施。生徒は10〜20分の制限時間内で成年と子牛各4頭を観察し、乳牛は乳の張り具合、和牛は姿勢の美しさや首の皮膚の伸び方などを見比べ、順位付けした。

大会は県学校農業クラブ連盟が畜産業の担い手の能力向上を目的に毎年開いている。

（山内拓郎）

個人の優秀賞は次の皆さん。

学校別の順位を決める総合では野村高が最優秀賞、大洲農業高と北宇和高が優秀賞に選ばれた。個人では、乳牛の部で野村高3年富永太陽さん、和牛の部で野村高1年山根悠梧さんが最優秀賞を獲得。10月に岩手県で

【乳牛】海野尾誠仁（今治南）安藤弘将（上浮穴）寺内心芦（大洲農）吉平七海（川之石）兵頭伊桜里（野村）能田哲史（北宇和）松下璃珠（北宇和三間）
【肉牛】武田蒼介（上浮穴）神野咲笑（西条農）清水悠生（大洲農）松田幸音（同）魚脇蓮（川之石）横田柁弥（野村）宇都宮千虎（北宇和）河野緋彩（同）

令和6年6月11日(水)付 愛媛新聞8面

掲載許可番号 d20240612-02

